

## 【補足資料】出窓の取り付け部に設置する内窓の取り扱いについて

本事業における「**内窓設置**」とは、既存窓の内側に新たに内窓を新設する、または既存の内窓を取り除き新たな内窓に交換する工事をいいます。ただし、外皮部分に位置する開口面から屋内側へ50cm以内に**平行に設置するもの**に限ります。

開口面とは外窓（複数のサッシで構成された出窓を含む）やドアを設置するために外壁に空けられた開口に対して、周囲の壁面を延長してできる面をいいます。

出窓に内窓を設置する場合、**出窓の形状や躯体の状況**により、補助対象にならない場合があります。出窓の取り付け部に内窓を設置する際の、代表的な事例と補助対象となるかどうかについて、以下に示しますので、参考にしてください。

※ 開口面（屋内側の面）から50cm以内に設置しない場合は、形状にかかわらず補助対象となりませんので、ご注意ください。

- ※1 出窓部分がサッシであり、開口面は屋内の壁と平行となる。このため、図のように屋内の壁と平行に内窓を設置する場合、開口面とも平行になり補助対象となる。
- ※2 出窓部分が躯体であり、開口面は外壁と平行（≠外窓のガラス面）となる。この場合、外窓と屋内の壁は平行であるため、図のように屋内の壁と平行に設置する内窓は、開口面（≠外窓）とも平行になり補助対象となる。
- ※3 出窓部分が躯体であり、開口面は外壁と平行（≠外窓のガラス面）となる。いずれの場合も、外窓は屋内の壁と平行とならないため、図のように屋内の壁と平行に設置する内窓は、開口面（≠外窓）とも（一部を除き）平行とならないことから、補助対象とならない。

出窓の形状	出窓部分がサッシのみで構成された出窓の例（腰高窓に多い）		躯体が張り出した出窓の例（掃出し窓に多い）	
	補助対象	イメージ ※開口面は出窓の取り付け部分	補助対象	イメージ ※開口面は既存の外窓部分
角型	○ ※1		○ ※2	<p>※ハーフ、トップライト型含む</p>
三角	○ ※1		× ※3	
台形	○ ※1		× ※3	
弓型	○ ※1		× ※3	